



テーマ「人を惹きつける屋外広告物」

第3回 横浜サイン・フォーラム

日時 平成28年 **3月5日(土)**
14:00▶16:40(開場13:30)

会場 **APPLAUSE**(ヨコハマNEWSハーバー)
横浜市中区太田町2-23 横浜メディアビジネスセンター1F

主催：横浜市都市整備局
後援：国土交通省
協力：一般社団法人神奈川県広告美術協会



横浜市都市整備局景観調整課
tb-yokohamasign@city.yokohama.jp
Tel.045-671-2648 Fax.045-663-8641



開会挨拶
【14:00~14:10】

第1部

平原 敏英 (横浜市都市整備局長)

基調講演【14:10~14:50】

テーマ「まちをイキイキさせる屋外広告物」

宮沢 功 (公益社団法人 日本サインデザイン協会 常任理事)

横浜サイン取組紹介【14:50~15:05】

飯島 悦郎 (横浜市都市整備局地域まちづくり部景観調整課長)

休憩【15:05~15:15】

第2部

パネルディスカッション【15:15~16:35】

テーマ「看板づくり、店づくり、まちづくり」

パネリスト

鈴木 俊治 (有限会社ハーツ環境デザイン 代表)

高久 広 (合同会社タカク 代表 (中小企業診断士))

末廣 芳和 (一般社団法人 神奈川県広告美術協会 会長)

コーディネーター

宮沢 功 (公益社団法人 日本サインデザイン協会 常任理事)

閉会挨拶
【16:35~16:40】

第3部

小池 政則 (横浜市都市整備局 地域まちづくり部長)

交流会【17:00~18:00】

参加自由 有料 1,000円【事前申込制】

基調講演



宮沢 功

公益社団法人 日本サインデザイン協会 常任理事

1941年東京に生まれる。1959年GKインダストリアルデザイン研究所に入所。2001年GK設計社長。2009年GK設計退職、同年ヨシモトポール株式会社顧問。2013年より株式会社ワイビーデザイン代表取締役社長。

現在、日本サインデザイン協会常任理事、特定非営利活動法人景観デザイン支援機構代表理事、武蔵野美術大学特別講師。入社以来ヤマハ発動機のモーターサイクルデザイン、京都信用金庫などのインテリア、大阪万博、つくば博のストリートファニチャ計画・設計、自治体の都市サイン・SF設計を手がける。その後2004年富山ライトレール、2009年市内環状線のトータルデザインを担当し現在はサイン・ストリートファニチャをベースにした環境デザイン領域で活動。SDA大賞、土木学会景観賞、グッドデザイン賞など多数受賞。

パネリスト



鈴木 俊治

有限会社ハーツ環境デザイン 代表

1960年東京生まれ。国内、米国での都市・環境計画、都市デザイン実務を経て2000年ハーツ環境デザイン設立。東京・神楽坂を拠点に各地で住民参加型まちづくり、都市デザイン、都市計画などに取り組んでいる。横浜ではみさとみらい21地区屋外空間活用、屋外広告物ガイドラインづくりなどに参加。NPO法人粋なまちづくり倶楽部副理事長、明治大学理工学部各員教授。



高久 広

合同会社タカク 代表 (中小企業診断士)

横浜生まれ横浜育ち、現在鎌倉市在住。株式会社横浜アーティストにて、地域振興事業や商店街活性化事業など、地域や商業者の目線に立つイベントやデザインなどの現場を長年従事。1998年鎌倉に手打そば会津茶屋を開業し、自らそばを打ち、店舗をプロデュースする。2003年に中小企業診断士としてベンチャーや飲食店などのコンサルティングを開始。商店街支援では、横浜駅西口五番街商店会の「横浜FCサポートタウン」としてのブランド確立事業をプロデュースするなど、景観や商業活性化のための仕掛けやインバウンド対策にも取り組んでいる。



末廣 芳和

一般社団法人 神奈川県広告美術協会 会長

1981年日本電子工学院を卒業、有限会社広和電業社入社、その後株式会社キハラネオン製作所勤務を経て、1988年株式会社廣和を設立、代表取締役に就任。1992年社団法人神奈川県広告美術協会理事に就任、横浜支部長、青年部部長、専務理事を経て、2012年社団法人神奈川県広告美術協会(現・一般社団法人神奈川県広告美術協会)会長に就任。屋外広告物の安全性について知見が深く、全国の自治体の屋外広告物のタウンミーティングなどに講師として呼ばれることも多数。